

県立土屋文明記念文学館移動展のご案内

紙芝居展

— 紙芝居屋さんが村にやってきた —

◎期 間 平成27年5月22日(金)～7月26日(日)
 ◎場 所 川場村歴史民俗資料館 川場村天神1122 (ホテルSL前)

◎開館時間 9時～17時
 ◎休館日 毎週月曜日(休・祝日の場合は翌日)
 ◎入館無料の日 7月26日(日)(川場まつりの日)



紙芝居の歴史 (主な展示内容)

- ① 紙芝居の源流—「覗きからくり」・「写し絵」・「立ち絵」—
- ② 街頭紙芝居—「平絵」(現在の紙芝居)の出現—
- ③ 宗教紙芝居・教育紙芝居の始発—
- ④ 「幼稚園紙芝居」—幼児教育を目的として—
- ⑤ 戦争へ—メディアとしての紙芝居—
- ⑥ 戦後民主主義—色彩を取り戻した紙芝居—
- ⑦ 「黄金バット」再び—街頭紙芝居の復活—
- ⑧ 世界へ羽ばたけ—日本生まれの文化財—

A『鞍馬天狗(くらまてんぐ)』
 昭和6年頃か。最初期の貴重な紙芝居。
 この頃の紙芝居は現在のものより小さい。
 絵は手描きで、裏にセリフが書いてありません。



B『種子蒔の話(たねまきのはなし)』
 昭和14年。キリスト教伝道を目的として作られた
 いわゆる宗教紙芝居。教会やその附属幼稚園などで
 実演されました。



C『櫛(くし)』
 昭和18年。自分の櫛を売って学資を
 作ってくれた母のために、兵隊となった
 息子が外地でよく似た櫛を買って帰ると
 いうお話です。



川場村歴史民俗資料館

0278-52-2115

378-0114 利根郡川場村天神1122

